

3

市民芸術・文化の振興と継承



施策の方向

地域に根差した文化活動や、人吉文化協会など各種文化団体に対する支援や市民参加型の各種芸術文化事業を通じ、市民力となる人吉文化の創造・継承を目指します。

市施設の集約や適正配置は重要な課題となっていますが、地域のコミュニティの核となるカルチャーパレスを有効活用することが望まれていることから、今後も文化芸術振興の拠点として再構築を図り、各種芸術・文化団体による自主活動や文化事業、市民芸術・文化鑑賞や発表会など、市民の利用機会の創出を目指します。

また、カルチャーパレスのあり方についても、人口推移や費用対効果の検証、利用者の意見も伺いながら慎重かつ総合的に検討していきます。

成果指標 (KPI)

成果指標	実績値 (令和5年度)	達成状況	目標値 (令和9年度)
犬童球溪顕彰音楽祭 (出場者数)	1, 677人	○	2,600人
人吉球磨総合美展 (来場者数)	1, 613人	○	1,800人

主要な事務事業

- (1)犬童球溪顕彰音楽祭事業
- (2)人吉球磨総合美展
- (3)カルチャーパレス改修事業

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(3)市民芸術・文化の振興と継承		

事務事業名	犬童球溪顕彰音楽祭事業	担当課	文化課
事務事業概要	犬童球溪の偉業を顕彰し音楽による地域文化の振興・普及を目指す事業		
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	碑前祭	既存 学校発表会
	既存	個人コンクール	既存 音楽のひろば

事務事業実績				
成果指標	目標値	令和5年度		令和6年度
		実績値		目標値
犬童球溪顕彰音楽祭(出場者数)	2,600人	1,677人		2,600人
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額
	国庫補助金	0	千円	0 千円
	県補助金	0	千円	0 千円
	起債	0	千円	0 千円
	その他	0	千円	2,647 千円
	一般財源	738	千円	2,272 千円
	事業費	738	千円	4,919 千円

評価

事務事業評価				
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果)			
	令和5年度においては、事業縮小により碑前祭と学校発表会のみ開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止や令和2年7月豪雨災害などの影響もあり学校発表会に関しては4年ぶりの開催だった。令和3年度以降も碑前祭の開催を継続することで、歴史ある犬童球溪顕彰音楽祭の灯を繋ぐことができた。			
	◇個人コンクール 令和2年度から令和5年度まで中止 令和6年度77人 ◇学校発表会 令和2年度から令和5年度まで中止 令和5年度28校 1,508人 令和6年度 27校 1,396人 ◇音楽のひろば 令和3年度から令和5年度まで中止 令和6年度 7団体 107人 ◇碑前祭 令和3年度 約20人 令和4年度 1校 85人 令和5年度 2校 169人 令和6年度 4校 226人			
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	(今後の課題)			
	カルチャーパレス大ホールが吊り天井耐震問題で使用できなくなり、会場がカルチャーパレス小ホールやスポーツパレス大アリーナへの変更を余儀なくされている。特に学校発表会の会場であるスポーツパレス大アリーナは音響や舞台設備が不十分で、準備に多大なマンパワーが必要となっている。			
	カルチャーパレスの大ホールが利用できない以上、学校発表会はスポーツパレス大アリーナでの開催とならざるを得ない。体育館での音楽祭開催には音響、ステージ、観覧席等の設置が必要となる。それぞれ業者に委託することで、円滑な発表会運営と職員の負担軽減が図られる。	事業の方向性	資源配分	
	現状維持	財源	現状維持	
		人員	現状維持	

改善

方向性

実施計画					
成果指標		令和7年度		令和8年度	令和9年度
		目標値		目標値	目標値
犬童球溪顕彰音楽祭(出場者数)		2,600人		2,600人	2,600人
事業財源	費目	予算額		予算額	予算額
	国庫補助金	0	千円	0 千円	0 千円
	県補助金	0	千円	0 千円	0 千円
	起債	0	千円	0 千円	0 千円
	その他	0	千円	2,660 千円	2,660 千円
	一般財源	6,210	千円	2,513 千円	2,513 千円
	事業費	6,210	千円	5,173 千円	5,173 千円

総合戦略	魅力的な生活圏の形成	
市長マニフェスト	該当なし	

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(3)市民芸術・文化の振興と継承		

事務事業名	人吉球磨総合美展	担当課	文化課
事務事業概要	芸術文化に触れ合う機会を設け市民の文化意識を高める事業		
主な取組内容 [Plan]	既存	人吉球磨総合美展	

事務事業実績				
成果指標	目標値	令和5年度		令和6年度
		実績値		目標値
人吉球磨総合美展(来場者数)	1,800人	1,613人		1,800人
事業財源 [Do]	費目	決算額		予算額
	国庫補助金	0	千円	0 千円
	県補助金	0	千円	0 千円
	起債	0	千円	0 千円
	その他	0	千円	2,353 千円
	一般財源	1,249	千円	2,020 千円
	事業費	1,249	千円	4,373 千円

評価

事務事業評価					
成果・課題 [Check]	(取組成果)				
	年度	出品者数	出品数	入場者数	場所
	令和3年度	スポーツバレス大アリーナ改修に伴い中止			
令和4年度	116人	116点	1,378人	石野公園	
令和5年度	94人	94点	1,613人	石野公園	
令和6年度	111人	160点	1,064人	スポーツバレス大アリーナ	
(今後の課題)					
歴史ある地元根付いた美術展ではあるものの、出品者数、出品数ともに減少傾向にある。					
改善内容 [Action]	引き続き美術協会等との連携のもと、運営体制の検討や出品者を増やすための取り組みなどを検討する必要がある。	事業の方向性		資源配分	
		現状維持	財源	現状維持	
			人員	現状維持	

改善

方向性

実施計画				
成果指標	令和7年度		令和8年度	令和9年度
	目標値		目標値	目標値
人吉球磨総合美展(来場者数)	1,800人		1,800人	1,800人
事業財源	費目	予算額		予算額
	国庫補助金	0	千円	0 千円
	県補助金	0	千円	0 千円
	起債	0	千円	0 千円
	その他	0	千円	2,340 千円
	一般財源	6,282	千円	2,084 千円
	事業費	6,282	千円	4,424 千円

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(3)市民芸術・文化の振興と継承		

事務事業名	カルチャーパレス改修事業	担当課	文化課
事務事業概要	老朽化した施設を改修し、文化事業を中心とした施設として再生する事業		
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	カルチャーパレス図書館エアコン入替工事	既存
	新規	カルチャーパレス受電設備交換工事	

事務事業実績				
成果指標	目標値	令和5年度 実績値		令和6年度 目標値
		犬童球溪頭彰音楽祭(出場者数)	2,600人	1,677人
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額
	国庫補助金	0	千円	0 千円
	県補助金	0	千円	0 千円
	起債	0	千円	0 千円
	その他	0	千円	0 千円
	一般財源	2,508	千円	7,800 千円
	事業費	2,508	千円	7,800 千円

評価

事務事業評価			
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果)		
	令和5年度に、図書館のエアコン改修工事を2基のうち1基行った。令和6年度は昨年度と同様に、図書館のエアコン改修工事を行うとともに更新期限を迎えている直流電源装置の入替も行っていく。		
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	(今後の課題)		
	今後も老朽化した部分の改修を行うことが見込まれるが、人吉市カルチャーパレスの在り方に関してどのような施策が適切か検討していくことが必須である。今後の方針によっては改修を行わないことも考えられる。		
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	<ul style="list-style-type: none"> 人吉市カルチャーパレスの在り方の検討 改修内容の優先順位付け 	事業の方向性	資源配分
		拡大	財源 拡大 人員 現状維持

改善

方向性

実施計画				
成果指標	令和7年度 目標値	令和8年度 目標値		令和9年度 目標値
		犬童球溪頭彰音楽祭(出場者数)	2,600人	2,600人
事業財源	費目	予算額		予算額
	国庫補助金	0	千円	0 千円
	県補助金	0	千円	0 千円
	起債	0	千円	0 千円
	その他	0	千円	0 千円
	一般財源	39,700	千円	248,029 千円
事業費	39,700	千円	248,029 千円	112,063 千円

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	該当なし

4

歴史文化遺産の保存と活用



施策の方向

本市に現存する数多くの文化財を適切に保存・管理することで次世代へ継承し、その価値を魅力ある地域資源として地域振興への活用を図ります。

その一つとして、旧市庁舎の跡地の利活用を含めた人吉城跡の新たな保存整備を進めていくことになります。特に、人吉城跡のガイダンス施設である人吉城歴史館は、豪雨災害により甚大な被害を受けましたが、市民や来訪者の歴史学習の拠点として復旧し、学校や地域の連携のもと、郷土の歴史学習支援および魅力発信拠点として、その機能を更に充実していきます。

肥薩線については、熊本県・宮崎県・鹿児島県の3県にわたる16市町村で組織する肥薩線利用促進・魅力発信協議会において、吉松駅～隼人駅間の利用促進や魅力を発信するとともに、明治時代の鉄道の姿を現代に残す肥薩線の歴史的・文化的価値を多くの人に伝えるべく、人吉鉄道ミュージアムMOZOCAステーション868などの関連施設等において、関係団体の協力のもと情報発信を継続して行っています。

成果指標（KPI）

成果指標	実績値 (令和5年度)	達成状況	目標値 (令和9年度)
人吉鉄道ミュージアムMOZOCAステーション868年間入館者数	34,506人	△	70,000人
人吉城歴史館年間来館者数	休館	—	16,500人

主要な事務事業

- (1) 指定文化財保存管理活用事業
- (2) 史跡人吉城跡保存整備事業
- (3) 史跡大村横穴群保存修理事業
- (4) 人吉城歴史館復旧事業
- (5) 市民学習と文化財情報発信の拠点事業
- (6) 肥薩線利用促進・魅力発信協議会推進事業

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(4)歴史文化遺産の保存と活用		

事務事業名	指定文化財保存管理活用事業	担当課	文化課
事務事業概要	市内の指定文化財を管理・活用するため、必要な業務を行う事業		
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	人吉市文化財保護条例	新規
	既存	人吉市文化財保存整備補助金交付要項	指定文化財管理費に対する助成制度の構築

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度 実績値		令和6年度 目標値	
		人吉城歴史館年間来館者数	16,500人	休館	
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	9,827	千円	3,832	千円
	事業費	9,827	千円	3,832	千円

評価

事務事業評価			
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果) 令和2年7月豪雨災害を契機とした文化財の災害復旧事業を主として実施した。 ◇令和5年度における新規指定・新規国登録文化財の数 県指定1件(R6年3月22日、市指定名勝鹿目の滝が県指定名勝へ) ◇文化財保全のための事業数 R5年度:9件(街蔵災害復旧施工監理・工事、真宗禁制出土遺物一括、懸仏修理、人吉城跡御館跡浚渫工事、矢黒神社災害復旧(施工監理・工事費)、湯の元観音接待所修理、石室観音修理、大村横穴群古墳祭り、青井阿蘇神社防災施設工事)		
	(今後の課題) 令和2年7月豪雨災害や新型コロナウイルス感染症の影響により、コミュニティの解体や地域行事・年中行事等の中止が増加し、文化財の管理活用や継承のための組織や担い手不足の問題が加速化している。指定・登録に伴う助成支援に加えて、これら文化財保全継承のための担い手の確保や組織整備についても対策が必要。 今後の文化財に関連する事業内容については、災害復旧を主体とした第1段階のフェーズから文化財の公開活用を視野に入れた整備事業や補助等といった次のフェーズへの事業展開を行う。		
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	管理面での人材確保や資金工面についても、各所有者が長期的な対策をとれるように具体的な見通しや手法のありかたを含めて助言を行う。 保存管理のための資金調達につながるような公開活用のあり方について情報を発信する。担い手育成のための講座や事業について注力する。	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 人員 現状維持 現状維持

改善

方向性

実施計画							
成果指標	令和7年度 目標値		令和8年度 目標値		令和9年度 目標値		
	人吉城歴史館年間来館者数	10,800人		14,400人		16,500人	
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	620	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	2,648	千円	2,795	千円	9,711	千円
	事業費	3,268	千円	2,795	千円	9,711	千円

総合戦略	魅力的な生活圏の形成	
市長マニフェスト	該当なし	

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(4)歴史文化遺産の保存と活用		

事務事業名	史跡人吉城跡保存整備事業	担当課	文化課
事務事業概要	人吉城跡を管理し、活用するために必要な整備を行う事業		
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	保存整備工事	

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度		令和6年度	
		実績値		目標値	
人吉城歴史館年間来館者数	16,500人	休館		休館	
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	53,700	千円	66,496	千円
	県補助金	4,737	千円	6,649	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	36,318	千円	59,848	千円
	事業費	94,755	千円	132,993	千円

評価

事務事業評価			
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果)		
	令和2年7月豪雨以降、災害復旧事業により復旧工事等を実施している。工事等により、立ち入り禁止措置を講じていた史跡内への立ち入りが可能となり、史跡の活用と来訪者、利用者の安全な見学が図られている。史跡人吉城跡内の保存管理を行う中で、変状が確認される石垣のうち、御館跡西側石垣の測量図化等を令和4年度に実施し、令和5年度から修理工事に着手している。		
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	(今後の課題)		
	史跡の適正かつ安全な保存活用を図るため、保存管理計画や整備基本計画に基づき、修理等が必要と判断される石垣や斜面等に対して、計画的に保存整備を継続して実施する。 特に、史跡の本質的価値を有する石垣については、経年による変状が確認されており、石垣の現況を把握するための基礎資料となる、史跡内に所在する全ての石垣の総合調査を実施する必要がある。 『史跡人吉城跡整備基本計画書』『史跡人吉城跡保存活用計画書』を策定し、今後の整備の手法や公開活用に関する方針について整理を行う。 石垣の総合調査(石垣カルテ)の作成を行う。		
	事業の方向性	資源配分	
	現状維持	財源	現状維持
		人員	現状維持

改善

方向性

実施計画							
成果指標		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
		目標値		目標値		目標値	
人吉城歴史館年間来館者数		10,800人		14,400人		16,500人	
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	44,774	千円	8,763	千円	5,805	千円
	県補助金	3,770	千円	876	千円	580	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	75,412	千円	7,888	千円	5,225	千円
	事業費	75,444	千円	17,527	千円	11,610	千円

総合戦略	魅力的な生活圏の形成	
市長マニフェスト	該当なし	

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(4)歴史文化遺産の保存と活用		

事務事業名	史跡大村横穴群保存修理事業	担当課	文化課
事務事業概要	大村横穴群の管理活用を図るため主に壁面の保存修理等を行う事業		
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	保存修理工事	既存
	既存	人吉市指定文化財等保存活用専門会議大村横穴部会	各種講座

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度		令和6年度	
		実績値		目標値	
人吉城歴史館年間来館者数	16,500人	休館		休館	
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	102,200	千円	2,610	千円
	県補助金	4,306	千円	0	千円
	起債	39,282	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	215	千円	5,481	千円
	事業費	146,003	千円	8,091	千円

評価

事務事業評価							
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果)						
	令和元年7月の大雨及び令和2年7月豪雨災害に伴う崖面の崩壊に対処するため、災害復旧事業に取り組み、いずれの崖面も安定対策工事を完了することができた。 また、西群横穴Ⅰ工区(民家裏)の保存修理工事も令和4年度に概ね完了し、崖面の安定対策と整備報告書等を刊行することができた。						
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	(今後の課題)						
	今後も引き続き災害に伴う復旧事業に取り組みつつ、西群Ⅱ工区や東群未整備箇所及びその他、本質的価値を有する未整備エリアの整備に継続的に取り組んでいく必要がある。 事業の継続に際し、事業費をどのように工面するかを検討。 確実な来訪者の増加に向け、どのような整備方針や公開活用の展開を図るか、入念な計画が必要。						
	長期的な事業費の確保に向けて、財政部局と事業内容の共有や費用確保の手段について連絡を密にする。 『史跡大村横穴群整備活用計画書』を策定し、今後の整備の手法や公開活用に関する方針について、対象地を一体的に整備する方針やゾーニングの整理を行う。	事業の方向性	資源配分				
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	財源	現状維持	人員	現状維持
財源	現状維持						
人員	現状維持						

改善

方向性

実施計画							
成果指標		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
		目標値		目標値		目標値	
人吉城歴史館年間来館者数		10,800人		14,400人		16,500人	
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	2,370	千円	1,000	千円	12,500	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	1,250	千円
	起債	0	千円	0	千円	10,917	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	2,371	千円	1,001	千円	333	千円
事業費	4,741	千円	2,001	千円	25,000	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成	
市長マニフェスト	該当なし	

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(4)歴史文化遺産の保存と活用		

事務事業名	人吉城歴史館復旧事業	担当課	文化課
事務事業概要	豪雨災害により被災した人吉城歴史館を復旧し、人吉城のガイド機能と全国的にも例がない相良清兵衛屋敷跡地下遺構を併せて、麓・老神地区周遊の拠点としての活用を図る事業		
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	災害復旧建築・設備工事	
	既存	展示設備工事	

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度 実績値		令和6年度 目標値	
		人吉城歴史館年間来館者数	16,500人	休館	
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	7,341	千円	100,560	千円
	県補助金	607	千円	8,694	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	4,208	千円	64,643	千円
	事業費	12,156	千円	173,897	千円

評価

事務事業評価				
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果)			
	令和3年度に関係団体(延べ248人)への意見聴取を行い、現在地での復旧が決定。令和5年度には、災害復旧に伴う建築・設備の詳細設計業務を実施した。また、展示設備については、令和4年度以降、有識者等による検討を踏まえて展示方針を決定し、令和5年度に人吉城歴史館展示設備基本設計業務委託を実施した。令和6年度には、建築及び設備の災害復旧工事、及び内部展示設備工事を実施予定であり、令和7年度月上旬の開館を予定している。			
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	(今後の課題)			
	開館後は、入館者を分析し、人吉城の魅力や「人吉城歴史館」での展示の伝え方等について検討・検証が必要となる。魅力的、効率的な展示を可能にするため、収蔵物のリスト化及び図録作成を更に進めていく必要がある。将来的には独立運営できるよう、関係団体または民間事業者等による指定管理への移行も検討する必要がある。			
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	麓・老神地区周辺の拠点となるよう、地域住民に人吉城歴史館の展示内容や企画に愛着を持っていただくため、施設の運営をサポートするボランティアの募集や育成を検討する。	事業の方向性	資源配分	
		現状維持	財源	現状維持
			人員	拡大

改善

方向性

実施計画							
成果指標		令和7年度 目標値		令和8年度 目標値		令和9年度 目標値	
		人吉城歴史館年間来館者数		10,800人		14,400人	
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	6,400	千円	6,400	千円	6,400	千円
事業費	24,374	千円	6,400	千円	6,400	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成		
市長マニフェスト	該当なし		

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(4)歴史文化遺産の保存と活用		

事務事業名	市民学習と文化財情報発信の拠点事業	担当課	文化課
事務事業概要	「歴史館カレッジ(常設・企画展示を含む)」等の開催を通じて、人吉城歴史館を市民の歴史学習の拠点として利用してもらう事業		
主な取組内容 Plan	既存	各種講座・講演の実施	
	既存	『ひとよし歴史研究』の刊行	

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度 実績値		令和6年度 目標値	
		人吉城歴史館年間来館者数	16,500人	休館	
事業財源 Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	462	千円	340	千円
	事業費	462	千円	340	千円

評価

事務事業評価							
Check	(取組成果)						
	<p>歴史学習支援の一環として、出前講座や出張授業など、各種の講座及び講演を実施した。また歴史文化の情報発信の一環として、郷土の歴史に関する各種調査成果をまとめた『ひとよし歴史研究』を発刊、販売している。</p> <p>◇出前講座、講演等の実施数 R5年度：9件 ◇ひとよし歴史研究第25号の発刊・第23～25号の販売</p>						
成果・課題	(今後の課題)						
	<p>●人吉城歴史館の復旧に伴い、特にアウトリーチプログラム※1の充実を図る必要がある。</p> <p>●文化財や歴史文化情報を活かした教育を行うことでシビックプライド※2を醸成する必要がある。</p> <p>●『ひとよし歴史研究』は、執筆のための十分な調査研究の時間を確保し、より充実した内容とする必要がある。</p> <p>※1 アウトリーチプログラム 劇場や美術館などが館外で行う活動。自ら劇場などに向かない人に対し関心を持たせることを目的としてイベントなどを行うこと。それらイベント内容の総称。</p> <p>※2 シビックプライド 「地域への誇りと愛着」を表す言葉。「郷土愛」と似ているが、自分自身が地域の構成員であると自覚し、さらにまちを良い場所にしていこうとする「意思」が含まれる。</p>						
改善内容 Action	<p>●アウトリーチプログラム充実を図るため、出前講座や説明マニュアルの作成を検討する。</p> <p>●シビックプライド醸成のため教育機関と連携した取り組みを行う。</p> <p>●『ひとよし歴史研究』は、2年に1回の発刊とする。</p>	事業の方向性	資源配分				
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	財源	現状維持	人員	現状維持
財源	現状維持						
人員	現状維持						

改善

方向性

実施計画							
成果指標		令和7年度 目標値		令和8年度 目標値		令和9年度 目標値	
		人吉城歴史館年間来館者数		10,800人		14,400人	
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	628	千円	210	千円	628	千円
事業費	628	千円	210	千円	628	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成		
市長マニフェスト	該当なし		

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(4)歴史文化遺産の保存と活用		

事務事業名	肥薩線利用促進・魅力発信協議会推進事業	担当課	交通政策課
事務事業概要	県境を越えた沿線市町村で連携し、肥薩線の利用促進およびその魅力を発信することにより、地域振興および活性化を図る事業		
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	肥薩線利用促進・魅力発信協議会	

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度		令和6年度	
		実績値		目標値	
人吉鉄道ミュージアムMOZOCAステーション868年間入館者数	70,000人	34,506人		50,000人	
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	30	千円	30	千円
	事業費	30	千円	30	千円

評価

事務事業評価			
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果)		
	肥薩線沿線の清掃活動や各種イベント等を各々実施。人吉市においては、引き続きMOZOCAステーションでの東京都立大崎高校ペーパージオラマ部の作品展示(第1球磨川橋梁)を行った。また、SL人吉引退後の譲渡要望を関係団体と実施していたが、令和6年3月にJR九州から人吉市への譲渡の発表があった。		
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	(今後の課題)		
	肥薩線復旧の最終合意に向け、JR肥薩線再生協議会プロジェクト推進ワーキンググループ(観光、日常利用部会)により具体施策の深度化を図る。また、山線復旧に向けては協議会としてもJR肥薩線のマイルール意識の醸成につながる取組が重要となるが、人員不足により手がまわらない状況。		
	・人員補充による体制強化	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 人員 現状維持 拡大

改善

方向性

実施計画			
成果指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度
人吉鉄道ミュージアムMOZOCAステーション868年間入館者数	70,000人	80,000人	85,000人
事業財源	費目	予算額	
	国庫補助金	0	千円
	県補助金	0	千円
	起債	0	千円
	その他	0	千円
	一般財源	30	千円
	事業費	30	千円

総合戦略	子どもが成長できる教育環境の整備
	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	人吉球磨、沿線自治体一体となつたくま川鉄道とJR肥薩線の復活を目指します。

5

スポーツの振興



施策の方向

子どもから大人、高齢者や障がいのある人など、市民の誰もが生涯にわたり主体的にスポーツ活動ができるよう、ソフト・ハード両面における環境づくりを推進します。

誰もが気軽にスポーツに親しみ、そして、楽しむことができるよう、若年期から高齢期までのライフステージに応じたスポーツ活動の推進、スポーツの楽しさや感動を分かち合い、互いに支え合いながら、市民の健康で活力ある生活と地域住民の交流や地域の絆づくり、活性化を実現できるよう推進します。また、eスポーツの普及やeスポーツを活用した地域経済の活性化を通じて、スポーツに対する新たな魅力を提供する機会の創出を図ります。ハード面の整備においては、施設の利活用や再建を含め、市民の意見を取り入れながら、具現化に向けて取り組んでいきます。

子どもたちの生涯に関わるスポーツや運動への関わり方や考え方に大きな影響を与えている中学校の運動部活動については、関係機関と連携し、地域移行を支援します。

また、スポーツ関係団体の組織強化や指導者の育成確保、競技人口の増加を図るため、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団、各種クラブチーム等地域スポーツ団体の活動を支援します。

成果指標（KPI）

成果指標	実績値 (令和5年度)	達成状況	目標値 (令和9年度)
スポーツ施設の年間利用者数	191,025人	◎	190,000人
学校体育施設の年間利用団体数	2,147団体	△	2,400団体
モリスポ（人吉市小学校社会体育）の年間加入率	22.48%	◎	20%

主要な事務事業

- (1) スポーツ交流イベント事業
- (2) スポーツ施設の管理運営・整備改修事業
- (3) 地域スポーツ団体等支援事業
- (4) モリスポ（人吉市小学校社会体育）推進事業
- (5) 中学校運動部活動の地域移行事業

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(5)スポーツの振興		

事務事業名	スポーツ交流イベント事業	担当課	社会教育課	
事務事業概要	世代・地域間の交流や健康づくり、地域活性化等に貢献するスポーツイベントの開催、また、民間によるスポーツイベント実施に対する助言やノウハウ提供等の支援を行う事業			
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	市民早起きソフトボール大会	既存	人吉駅伝大会
	既存	ひとよし温泉マラソン	新規	人吉市スポーツ大会等誘致補助金

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度 実績値		令和6年度 目標値	
		スポーツ施設の年間利用者数	190,000人	191,025人	
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	182	千円	7,483	千円
	事業費	182	千円	7,483	千円

評価

事務事業評価			
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果)		
	令和5年度においては、市民早起きソフトボール大会、人吉駅伝大会を復活開催することができた。ひとよし温泉マラソンについては、実行委員会内において実施検討部会を立ち上げ、マラソン大会の復活開催に向けて協議をすすめ、令和6年度に復活開催することを決定した。令和6年度において、スポーツ大会等誘致補助金を創設し、スポーツ大会の誘致を通じて、本市のスポーツ振興と地域活性化を図っていく。		
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	(今後の課題)		
	市民早起きソフトボール大会、人吉駅伝大会については、参加チームが、コロナ禍・令和2年7月豪雨災害前の水準に戻っておらず、市民の参加を促していく必要がある。ひとよし温泉マラソンは、5年ぶりの開催となるが、近年、市民マラソンを取り巻く環境が変化してきており、定員割れの市民マラソンも多くみられることから、本年度の大会開催を成功に導くため、地域一体となり、本大会を盛り上げていくことが大きな課題である。		
	大会を主催して、スポーツイベント交流を図っていくのには限界があることから、スポーツ大会等誘致補助金を通じて、スポーツ大会の誘致し、本市のスポーツ振興と地域活性化を図っていく。	事業の方向性	資源配分
		拡大	財源 拡大 人員 拡大

改善

方向性

実施計画							
成果指標		令和7年度 目標値		令和8年度 目標値	令和9年度 目標値		
		スポーツ施設の年間利用者数		190,000人		190,000人	190,000人
事業財源	費目	予算額		予算額			
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	4,000	千円	4,000	千円	4,000	千円
	一般財源	5,160	千円	5,326	千円	5,326	千円
	事業費	9,160	千円	9,326	千円	9,326	千円

総合戦略	子どもが成長できる教育環境の整備	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	人が集う、人が交わる、誰もが楽しめる年間を通したイベントを創出します。	

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(5)スポーツの振興		

事務事業名	スポーツ施設の管理運営・整備改修事業	担当課	社会教育課
事務事業概要	施設を安全に利用していただくため計画的な改修整備による施設の長寿命化を図り、市民のスポーツニーズを踏まえながら施設の充実に努め、施設の利用環境の向上と適切な管理運営を行う事業		
主な取組内容 Plan	既存	人吉市体育施設指定管理委託	既存
			スポーツ施設の整備修繕事業

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度		令和6年度	
		実績値		目標値	
スポーツ施設の年間利用者数	190,000人	191,025人		190,000人	
学校体育施設の年間利用団体者数	2,400団体	2,147団体		2,250団体	
事業財源 Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	17,666	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	3,300	千円	35,300	千円
	その他	96	千円	96	千円
	一般財源	69,052	千円	64,342	千円
	事業費	72,448	千円	117,404	千円

評価

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	本市においては、スポーツ施設の利用者の利便性を図るとともに、より一層効果的、効率的な施設の管理運営を行うため指定管理者制度を導入しており、現在、人吉市体育協会に施設管理を委託している。スポーツ施設の年間利用者数については、コロナ禍・令和2年7月豪雨災害で影響から令和2年度は約3万9千人、令和3年度は約9万4千人、令和4年度は約15万5千人と低迷していたが、令和5年度においては約19万1千人となり、コロナ禍前の水準に近づくくらいに回復させることができた。スポーツ施設の修繕・改修・整備事業については、令和5年度は、梢山地区多目的グラウンド公衆トイレ内壁の修繕、スポーツパレス樹木伐採、川上球場サブグラウンド整備、スポーツパレス排水設備改修工事、人吉クレー射撃場法面復旧工事を実施することができた。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	各スポーツ施設の状況を把握している指定管理者の人吉市体育協会と協議をし、優先順位をつけて改修・整備に取り組んでいる状況ではあるものの、多くのスポーツ施設で、老朽化や経年劣化が進んでいることから、今後も計画的な改修・整備が必要である。		
改善内容 Action	今後の改修・整備事業の推進にあたっては、財政負担の軽減を図りつつ実施していく必要があるため、過疎対策事業債の活用のほか、国庫補助金やスポーツ振興くじ助成金の確保にも努めていきたい。	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 人員

改善

方向性

実施計画							
成果指標	令和7年度		令和8年度		令和9年度		
	目標値		目標値		目標値		
スポーツ施設の年間利用者数	190,000人		190,000人		190,000人		
学校体育施設の年間利用団体者数	2,300団体		2,350団体		2,400団体		
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	4,980	千円	4,980	千円	4,980	千円
	その他	10,096	千円	6,496	千円	20,096	千円
	一般財源	67,140	千円	96,859	千円	102,459	千円
	事業費	82,216	千円	108,335	千円	127,535	千円

総合戦略	子どもが成長できる教育環境の整備	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	グラウンドゴルフ場やサッカー場などのスポーツ施設を整備します。	

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(5)スポーツの振興		

事務事業名	地域スポーツ団体等支援事業	担当課	社会教育課
事務事業概要	全ての市民がスポーツに親しみ、また、競技人口の増加や競技力向上のために、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団、各種クラブチーム等、地域のスポーツ団体の活動を支援する事業		
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	人吉市体育協会補助事業	既存
	既存	総合型地域スポーツクラブ事業	スポーツ少年団事業

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度 実績値		令和6年度 目標値	
		スポーツ施設の年間利用者数	190,000人	191,025人	
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	9,023	千円	9,567	千円
	事業費	9,023	千円	9,567	千円

評価

事務事業評価			
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果)		
	NPO法人人吉市体育協会に補助金を支出し、県民体育祭、市民体育祭、球磨一周市町村対抗熊日駅伝大会、熊日郡市対抗女子駅伝、郡市対抗熊日駅伝等の事業を通じて、市民の体力向や競技力向上を図り、スポーツ振興に寄与できた。総合型地域スポーツクラブ及びスポーツ少年団においては、事務局業務を担うことで、運営を支援した。		
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	(今後の課題)		
	少子化や高齢化もあって、各競技団体の競技人口の減少、総合型地域スポーツクラブの会員の減少、スポーツ少年団の団数・団員の減少が進んでいる。競技者や指導者の確保につながる仕組みづくりが課題である。		
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	さらなる競技人口の底辺拡大が図れるように各競技種目団体やクラブなどと連携していくことに加えて、広く一般市民を対象としたスポーツ事業の推進についても情報発信などを通じて、働きかけを行っていく必要がある。	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 人員

改善

方向性

実施計画							
成果指標	目標値	令和7年度		令和8年度		令和9年度	
		目標値		目標値		目標値	
スポーツ施設の年間利用者数	190,000人	190,000人		190,000人		190,000人	
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	9,434	千円	9,434	千円	9,434	千円
	事業費	9,434	千円	9,434	千円	9,434	千円

総合戦略	子どもが成長できる教育環境の整備	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	該当なし	

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(5)スポーツの振興		

事務事業名	モリスポ(人吉市小学校社会体育)推進事業	担当課	社会教育課
事務事業概要	小学4年～6年生の児童を対象に、特定の競技種目によらない、レクリエーションスポーツその他総合的な運動の機会を創出し、かつ児童の身体機能向上および健康増進を図る事業		
主な取組内容 Plan	既存	スポーツコーディネーター業務委託	既存 モリスポ推進事業

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度		令和6年度	
		実績値		目標値	
モリスポ(人吉市小学校社会体育)の年間加入率	20%	22.48%		20.00%	
事業財源 Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	2,061	千円	2,077	千円
事業費	2,061	千円	2,077	千円	

評価

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	令和5年度は、モリスポ(学校単位の社会体育活動)に対して、市内対象児童(4～6年)774人の内、174人(22.48%:目標20%)の児童の参加申込があり、モリスポ活動実績は、総計144回実施、延べ参加人数3,446人であった(令和4年度:申込児童数127人、加入率15.38%、総計150回実施、延べ参加人数2,614人)。モリスポについては、大きな事故・怪我なく実施でき、指導者から見て参加児童の運動能力向上が確認できており、目的である「児童の身体能力の向上及び健康増進」に寄与できたものと考えている。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	モリスポは、受益者負担の原則からスポーツコーディネーター業務以外の必要経費については、会費収入で運営しているため、持続的な事業継続のために会員数確保が大きな課題である。必要経費(傷害保険料や指導者謝礼等)確保のために、目標加入率を20%にしており、令和5年度については、目標を上回ったが、この加入率を維持していく必要がある。そのため、子どもの身体活動の重要性に関する保護者の意識を高め、加入率を維持していく取り組みは引き続き必要であると考えている。		
	人吉市PTA連絡協議会の協力を得て、本活動の体験会などを実施したことから、参加児童が増えたと考えられ、引き続き、PTAや保護者の協力を得られるように事業に取り組んでいく必要がある。	事業の方向性 現状維持	資源配分 財源 現状維持 人員 現状維持

改善

方向性

実施計画							
成果指標	令和7年度		令和8年度		令和9年度		
	目標値		目標値		目標値		
モリスポ(人吉市小学校社会体育)の年間加入率	20.00%		20.00%		20.00%		
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	2,104	千円	2,104	千円	2,104	千円
事業費	2,104	千円	2,104	千円	2,104	千円	

総合戦略	子どもが成長できる教育環境の整備	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	該当なし	

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(5)スポーツの振興		

事務事業名	中学校運動部活動の地域移行事業	担当課	社会教育課
事務事業概要	中学校の運動部活動の地域移行を推進するため、関係機関と連携し、休日の運動部活動の地域移行を支援する事業		
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	新規	中学校部活動地域移行検討	

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度 実績値		令和6年度 目標値	
		学校体育施設の年間利用団体者数	2,400団体	2,147団体	
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	0	千円	302	千円
	事業費	0	千円	302	千円

評価

事務事業評価			
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果)		
	国と県が示す中学校部活動の地域移行の方針に従い、今後のあり方や望ましい部活動の環境整備について検討するための「人吉市中学校部活動地域移行検討会」(以下「検討会」という。)を設置する準備として、設立準備会を令和5年度に立ち上げ、検討会メンバーの選定や、検討事項の事前準備、検討会の設置根拠(案)等について協議をいただいた。		
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	(今後の課題)		
	今後、検討会において、具体的に地域移行について検討を進めていくこととなる。中学校部活動の地域移行を進めるに当たっては、生徒・保護者・教職員の理解、受け皿となる団体等の整備、指導者などの人材の確保、活動場所の確保、費用の負担など、検討すべき事項は多岐にわたり、地域移行を実現させるためには、多くの課題がある。		
	令和6年度以降の検討会において、地域移行に向けた協議を実施していき、まずは、休日の部活動の地域移行に取り組み、その後に、平日も含めた地域移行の実現を目指していく。	事業の方向性	資源配分
		拡大	財源 拡大 人員 拡大

改善

方向性

実施計画							
成果指標	令和7年度 目標値	令和8年度 目標値		令和9年度 目標値			
		学校体育施設の年間利用団体者数	2,300団体	2,350団体		2,400団体	
事業財源	費目	予算額		予算額			
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	102	千円	272	千円	272	千円
事業費	102	千円	272	千円	272	千円	

総合戦略	子どもが成長できる教育環境の整備	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	競技団体としっかりと協議を進め、中学校部活動の社会体育移行を支援します。	